

MiRai News

Information

介護支援スタッフ、 生活支援スタッフ募集中!

未経験者
歓迎

詳しくはホームページ、または下記宛お問い合わせ下さい。

✉ saiyou@n-ikuseien.jp ☎ 0595-65-0271 (担当:西浦・川出)



発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326 TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:川出将規 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ) 編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

時代の流れに沿い、地域のニーズを汲んで事業所再編

よりきめ細やかなサービス目指す、生活介護事業

昭和33年に開設した、日本初の児童・成人一貫施設「名張育成園児童寮」を起源に持つ名張育成会は、昭和、平成、令和と時代の流れに沿って事業再編や拡充を行い、地域のニーズを汲んでまいりました。そして令和4年春、4事業所あった通所系生活介護事業所を3事業所に再編し新体制がスタート。歴史のある〈デイセンターういず〉の実績は、〈ききょうの家〉と〈とも〉〈アトリエ彩(ワークプレイス菜)〉の3事業所がそのDNAを受け継ぎ、それぞれの特徴を活かしながら、よりきめ細やかなサービスの提供を目指しています。

ききょうの家

〈ききょうの家〉は、普段から身体的介助の必要な方へのケアに特徴があります。〈旧ういず〉からはゆったりと慣れた場所で過ごしたい利用者や、仲の良い方など10名が来られました。



〈旧ういず〉の活動場所もすみれ(ききょうの家)として活用。〈旧ういず〉に通っていた利用者にとっては、慣れた親しんだ部屋が利用できるのはありがたいもの。またききょうの家の利用者も活動場所が広がりました。



古くからの友達のように、〈ききょうの家〉利用者と〈旧ういず〉の利用者が楽しそうに談笑。すぐに打ち解けたようです。

「お友達もいっしょだし、楽しいですよ!」
足湯がとっても気持ちよさそう!

ワークプレイス菜

多機能事業所で展開している特徴の一つ〈アトリエ彩〉へ3名の方が来られ、それぞれ新しい環境で創作活動に励んでいます。



顔をモチーフにした、パターン画という技法を開いて熱心に取り組んでいます。新境地ですね。

〈旧ういず〉では余暇活動を中心に過ごしていましたが、集中して絵を描くことで、表情も引き締まってきました。



先日開かれた「菜のアーティストたち展」では、折り紙のモニュメントを発表。大好きな折り紙が作品になる喜びに目覚めました。



創作活動は未経験。コミュニケーションも苦手でしたが、〈アトリエ彩〉に移ってから活動も活発になり、バスを乗り継いで30分かけ、休まず毎日来られるほどに、やりがいが見つかったようです。



とも

〈とも〉は、どんなに障害が重くても、働くことで『やりがい』を覚え、生活に『楽しみ』を生み、『健康に暮らす』ことを目指しています。〈旧ういず〉からは、〈パン工房ういず〉と〈JOY2(作業所)〉を引き継ぎ、働きながら健康に過ごすことを希望する7名が来られました。



〈とも〉の作業所に加えて〈JOY2(作業所)〉が〈とも2nd(セカンド)〉としてポップな建物に生まれ変わりました。従来から〈とも〉を利用している方も活動の幅が広がり、現在11名の方がここで作業をしています。



温かみのあるピンクの部屋



2つの特徴ある空間。利用者の個性に合わせてグループ分けしています。



清潔感あふれるブルーの部屋

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート 検索

施設入所支援〈成美〉

新しい職員を紹介します♪



笑顔がとっても素敵なNさんです(◡◡)
4つほど質問をしていきます。
「(?)入職して3か月が経ちましたがどう
ですか(ざっくり…笑)」
『…自分にもできる仕事内容が増えてきて、責
任感の意識が強くなりました。また、少しずつ利
用者さんの特徴がわかって、コミュニケーション
が取りやすくなり、会話が楽しいと感じるよ
うになりました。先輩職員も

親切に教えてくださるので、働きやすいです。』

「(?)休日は何をして過ごしていますか」「(?)趣味は何ですか」
「(?)これからどのような職員になっていきたいですか」残り3つの答え
はブログをご覧くださいね。『しっかり者』という印象のNさんでした!



▲ブログはコチラ

いが児童発達支援センター
〈れいあろは〉

七夕♪



さーさーの一はーさーらさら～
♪笹が登場しました! さあ、願
い事を託した大切な短冊を持って、
いざ飾り付け! 苦戦しながら、頑
張って笹に通します! 通すのが難
しい子は職員と一緒につけまし
た。折り紙などで飾り付けをして
くれる子もいます☆

そして…みんなのお願い事が
たくさんつまった笹飾りができ
ました～(^^)

色とりどりの短冊と飾りがとて
もきれい～☆見るだけでテンシ
ョンが上がってつ
いつい飛び跳ね
ちゃいます。

みんなの願
い事が叶いますよ
うに!



▲ブログはコチラ

の一まらいふ暖



新人Kの思うこと

通所施設を中心に10年現場勤務したあと、初めて相談
支援に携わりおよそ2カ月が経過。目下勉強中ですが、感
想を少し。

相談支援のひとつ「モニタリング」。利用者さん一人ひと
りと面会し、希望する生活ができていのかどうかを評価
するものです。面会する際には、利用者さんの情報を一通
り確認してからお会いするのですが、情報と実際に会っ
た印象のギャップに驚くことがあります。例えば、「言葉
数が少なく、お話をしてくれる方なのかな?」と思ってい
たら、とても笑顔で、言葉数は少なくてもうなずくことで私の質問にしっかり答えてくださります。

まさに「百聞は一見に如かず」。情報と想像だけでその方を理解しよう
とするのはかなり難しいと痛感しています。まずは利用者さんとお話し
たり、共に時間を過ごす機会を大切に、初心に帰り新たな気持ちで
頑張ります。

また、「百聞は一見に如かず」。情報と想像だけでその方を理解しよう
とするのはかなり難しいと痛感しています。まずは利用者さんとお話し
たり、共に時間を過ごす機会を大切に、初心に帰り新たな気持ちで
頑張ります。



▲ブログはコチラ

(表面より) きめ細やかなサービスの実現を目指して!

この春、〈旧ういず〉職員も〈ききょうの家〉などに異動。それぞれの事業所で新しい業務に携わっています。



「身体ケアなど、〈旧ういず〉にはない支援内容に戸惑いもありましたが、作業療法士による
個別マニュアルのきめ細かさが、すごく役立っています。あとは〈旧ういず〉で培ってきた
コミュニケーション術をどう活かすか。喜んでもらえるツボを覚えるのにあと少しです!!」

記者は〈旧ういず〉元利用者の皆さんと、
過去の広報紙取材を通じてすっかり顔馴
染。お会いすると「来てくれたん、こっちも楽
しいよ!!」と、居なれた様子に安堵します。
しかしそれも、新旧職員の結束あつてこそ。
職員の「汗」が光っていました。



虹の会では随時会員募集しています。

支援を通じた仲間作り。一緒に活動しませんか! 名張育成会後援会・虹の会 0595-65-0271

〈取材: 広報委員会〉